

玉井小だより

平成28年1月15日
大玉村立玉井小学校
TEL (48) 3302

発行者 校長 佐藤一男

めあてに向かって

1月8日(金)、第3学期の始業式が行われました。全校生を代表して、3年生2名が、「冬休みの思い出と3学期のめあて」を発表しました。

冬休み、一番心に残ったことは、近所のおじいちゃん、おばあちゃんたちが開いてくれたお楽しみ会です。おじいちゃん、おばあちゃんたちと一緒に、お手玉や輪投げ、福笑いやメンコ、おはじきなどをしました。

「お手玉、じょうずだね。」とほめられて、うれしかったです。帰るときにプレゼントをもらいました。とても楽しい時間でした。毎年、一年に一回、近所のおじいちゃん、おばあちゃんたちが開いてくれるお楽しみ会、来年も楽しみです。

3学期は、二つ、めあてを立てました。一つ目は、漢字検定で合格することです。1、2年生と合格しているので、3年生でもしっかり勉強して、三年連続、合格したいです。二つ目は、なわとび大会です。持久とび3分以上を目指して、がんばりたいです。

これらのめあてが達成できるよう、がんばりたいと思います。



【3年1組 荒川恋寧さんの発表】



【3年2組 齋藤結希花さんの発表】

私は、冬休みの前の日に「毎日、お手伝いをする。」というめあてを立てました。お風呂洗いやお料理を手伝いました。わたしは『だしまき卵』という卵やきに挑戦しました。はじめは、お母さんに手伝ってもらいましたが、二回目からは、自分で料理しました。卵をひっくり返すのが、とてもむずかしかったです。あまりこがさないで、ふんわりできたので、とてもうれしかったです。これからもお手伝いを続けたいと思います。

3学期がんばりたいことは、二つあります。

一つ目は、漢字の勉強です。なぜかという漢字検定があるからです。冬休みに「漢字を2日に1回、2ページ書く」という目標を決めました。おばあちゃんの家泊まりに行ったり、いとことハワイアンズに行ったりして、書けない日もありましたが、何とか目標を達成することができました。2月の漢字検定には、満点を目指して、が

〈裏へ続きます〉

んばりたいです。そのために、毎日、漢字練習をしたいと思います。

二つ目は、なわとびです。3学期は、なわとび記録会があるので、3分間なわとびを跳べるようにがんばりたいです。そのために朝、登校したら体育館で練習したいと思います。去年よりも記録を伸ばしたいです。この目標に向かってがんばりたいです。

子供たちが家庭や地域のみなさんにとっても大事にされていることがよく分かる発表でした。

始業式には子供たちに、「自分で考えて目標を決めること」そして「決めたことをやり通すこと」を話しました。ご家庭でも、子供たちが自分で決めた目標を聞いてあげて、やりとげられるように見守ってあげてください。

自分で学び続ける子に

3年生が辞書を使って勉強している様子です。

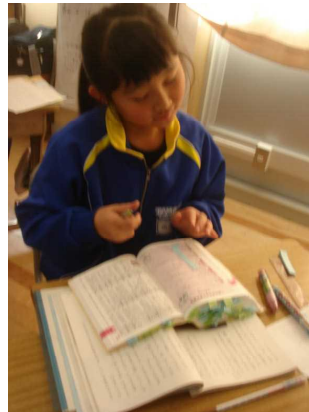
辞書で言葉の意味を調べたら、付箋を貼っていきます。1学期から使い始めていますから、付箋がいっぱいになって、どの子の辞書もふくらんでいます。子供たちは嬉しそうに辞書を引いています。付箋が増え、子供たちの語彙は確実に豊かになっているようです。

子供たちのもっている言葉の数が増えれば、子供たちはそれだけ豊かに考えることができます。

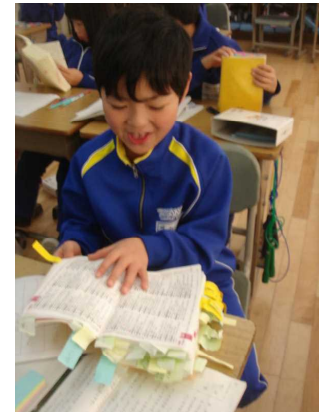
意味の分からない言葉、曖昧な言葉をそのままにしないで、辞書で調べてみる習慣を身につけたら、その子の人生は一層豊かになるのではないのでしょうか。

これからの時代、「自分で学び続ける習慣」はますます重要になってくると考えています。

子供たちが分からない言葉に出会ったら、「辞書で調べてごらん。」「一緒に辞書で調べてみようか。」と言葉をかけてみてください。お願いします。



【意味を調べます】



【付箋を貼ります】

みなさんに大事にさせていただいています



【修理していただいた体育用具室】

昨年の暮れに、芝生の校庭の隅にある体育用具室の壁を修理していただきました。村役場の総務課の職員の方が数人で修理してくださいました。

年末の本当に忙しい時期、子供たちのために、学校のために貴重な時間をさいて、わざわざ修理に来てくださったのです。

村のみなさんに大事にさせていただいていることを子供たちにきちんと教えていきたいと考えています。

ありがとうございました。